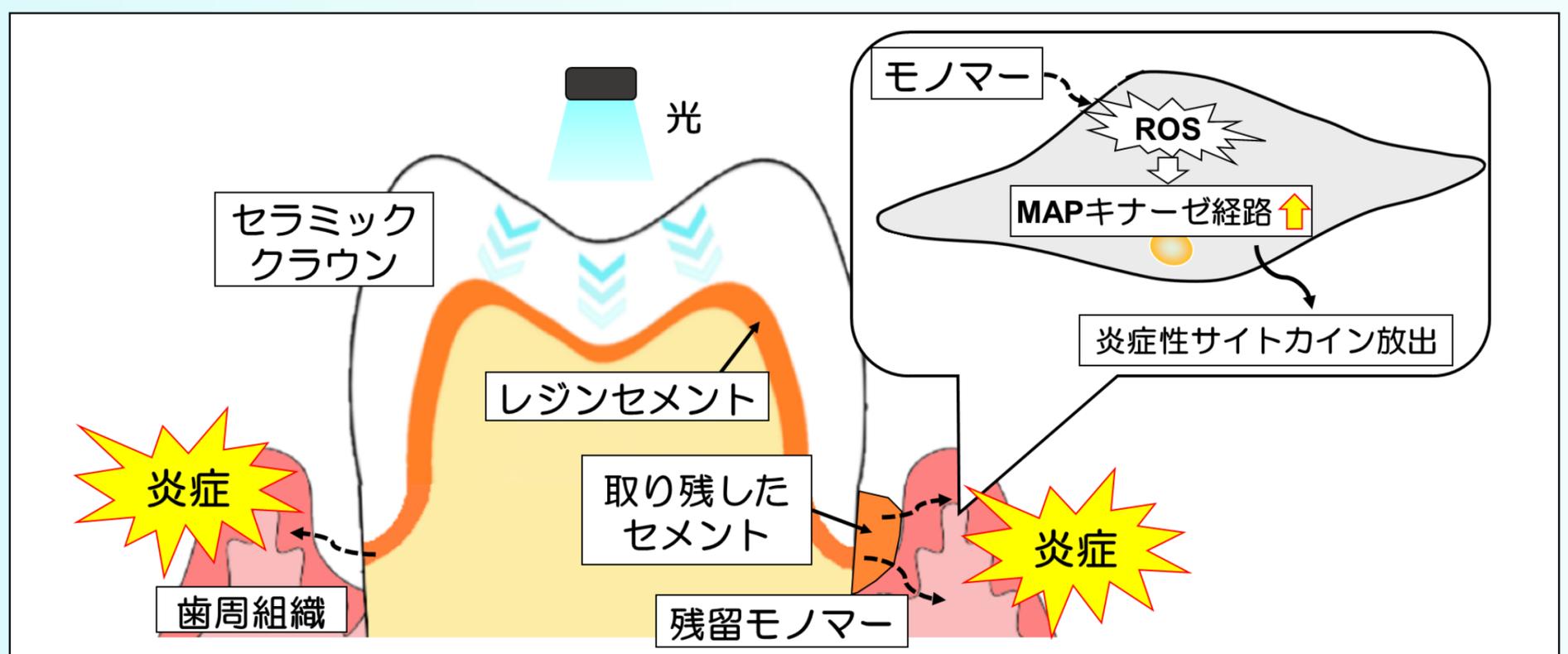


# 歯科用接着剤が歯周組織の炎症を引き起こすメカニズムの一端を解明

次世代歯科材料工学講座の近藤威助教、柿沼祐亮 研究者および分子・再生歯科補綴学分野の江草宏 教授らの研究グループは、光が十分に届かず硬化が不十分なレジンセメントは多くの残留モノマーを溶出し、歯周組織の炎症を引き起こすことを明らかにしました。

本研究により、炎症を起こしにくい新たなレジンセメントの開発や他の歯科用材料が歯周組織に及ぼす影響の解明のヒントになる重要な知見が示されました。

本研究成果は、2023年6月7日に国際学術誌 *International Journal of Molecular Sciences* のオンライン版に掲載されました。



図：硬化が不十分なレジンセメントが炎症を引き起こすメカニズムの模式図